



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 運の方程式

鈴木 祐 著 アスコム

ホームページ <https://primecorporation.jp/>

発行日 2026年7月1日 Vol. 285

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡 邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 1660 番地

Phone 0554-22-2810 Fax 0554-67-8006

2027年エアコン問題

2027年4月から家庭用エアコンの省エネ基準が大幅に厳しくなることで、低価格帯のエアコンが減少し、価格上昇や品薄が起こる可能性が予想される問題です。特に安価なスタンダード機種が新規出荷しづらくなり、結果として「今のような格安エアコンが減る・価格が上がる可能性がある」と懸念されています。

何が変わるのかというと、日本の省エネ法(トップランナー制度)に基づき、メーカーに対してより高い省エネ性能が求められます。基準を満たせない機種は新たに製造・販売しにくくなるため、現在の普及価格帯モデルの一部が市場から姿を消す可能性があります。

私たち消費者にとって次のようなことが影響されると予想されます。まず、「エアコン本体価格が上昇」すること、次に「安価な機種の選択肢の減少」。そして、「駆け込み需要による品薄や工事待ち、高性能・高省エネ機種への移行促進」が考えられます。

よくある誤解として、「2027年になったら今使っているエアコンが使えなくなる」というわけではありません。また、現在使用中のエアコンは、そのまま継続して使用は可能です。規制の対象は主にメーカーの製造・出荷です。

ここ数年の夏季の気温は異常な暑さが続いています。今年もスーパーエルニーニョ現象により猛暑が予想されます。今エアコンを買い替えるべきかはそれぞれのご家庭の状況にもよりますが、「エアコンを購入してから10年以上経過している」「このところ冷えが悪い、異音がする」「夏に故障すると困る」などの不安材料がある方は、早めの買い替えを検討されてもいいかもしれませんね。

エアコンを考えるうえで、新しい機種なら慌てて交換する必要はありませんが、新基準対応機種はさらに省エネ性能が向上する可能性もあります。電気代の使用状況によって年間数千円～数万円の電気代差が出ることもあります。



現在まだ使えるエアコンでもインフレ傾向により修理代や工事費の上昇は不安材料になります。

国や自治体によっては、省エネ家電購入補助や脱炭素関連補助金を実施されることがあるので、買い替えに補助金を活用してみるのもいいかもしれませんね。

将来の不安

私たちは将来のために、今の生活を切り詰めながら少しでも多くのお金を口座に入れるように努力してきていると思います。そんな風に“将来の安心”を求め続けているみなさんにあえて問いかけてみたいと思います。「あなたは、そのお金をいつ、どこで、誰と、何に使う予定ですか?」。もし明確な目的がないままただお金を増やすことに必死になっているとしたら、とても驚くデータが内閣府から報告されています。

令和6年度の『年次経済財政報告』なのですが、日本人の資産額は60代前半でピークを迎えた後、85歳を過ぎてはほとんど減らないという事実です。この記載データでは、世帯主が60～64歳の時に資産保有額がピークを迎える一方、その後は年齢が高まっても資産額は大きく減少しないとあります。金融資産の大部分を占める「預金」については、年齢が高まっても預金残高はほとんど変動がなく、取り崩している様子も見られない。有価証券についても70代以降も減少せず保有され続けています。

結局一生懸命働いて、節約して、投資して築き上げた資産をほとんど使わないまま亡くなっている現実があります。このことを「偶発的遺産」と専門用語で言うそうです。「将来のために」「将来の不安に備えて」と考えていたはずなのに“資産”を抱えたまま人生の幕を閉じてしまいます。「もっと貯金や資産を増やさなきゃ」「もっと節約しなきゃ」という思いが、逆に大切な時間や人、そして自分自身を苦しめているのかもしれない。「将来の不安」という魔物に怯えずに一度しかない人生を楽しみたいものですね。



【座右の銘にしたい名言】



短い人生は時間の浪費によっていっそう短くなる。

サミュエル・ジョンソン (英国の詩人、批評家、文献学者)